

平塚市議会 12月定例会

議案の審議結果

12月定例会では、市長提案による22件の議案と議員提案による2件の会議案について審議し、すべて原案どおり可決しました。また、継続審査となっていた平成22年度決算にかかると議案について認定しました。

○賛成 ×反対

Table with columns: 番号, 件名, 湘南フォーラム, 清風クラブ, 平塚自民クラブ, 公明ひらつか, 日本共産党平塚市議会議員団, 無所属A, 無所属B, 無所属C, 無所属D, 結果. Lists various council proposals and their outcomes.

Table with columns: 会派名等, 所属議員名. Lists council members and their affiliations.

可決した意見書

平塚市議会では、次の2つの意見書を可決し、関係機関へ提出しました。

サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書

衆議院や参議院、政府機関を狙ったサイバー攻撃が明らかになり、サイバー攻撃に対する国民の不安はこれまでに高まっている。

わが国の重要な情報がサイバー攻撃で海外に流出することは、国益に大きな影響があり、政府が一体となってサイバー攻撃・情報保全対策を構築することが求められている。

特に現在、不定期開催となっている情報セキュリティ政策会議を定期開催することや、情報保全の危機分析、内外情勢分析、諸外国の政策動向等を定期的に国会に報告することで、わが国の情報保全対策に対する決意を内外に示すこととなる。

よって、政府及び国会におかれては下記の事項について積極的に実現を図り、サイバー攻撃に対する国民の安心・安全を守るよう強く求める。

- 1 国家としての安全保障の観点から、情報保全の基本戦略を早急に構築すること。
2 防衛省はわが国の防衛調達に関する情報管理、保秘体制を強化すること。
3 政府は重要な社会基盤に対するサイバー攻撃の可能性を評価・検証し、地方自治体に対するサイバー攻撃対策についても、早急に戦略を構築すること。
4 民間の優れた人材の技術を活用し、官民一体となった情報保全対策を構築すること。

神奈川県重度障がい者医療費助成制度に関する意見書

平塚市議会は、平成23年8月に障がい者団体から要望を受け検討を重ねてきた。

障がい者自立支援法の施行に伴い、精神障がい者に対する福祉においても他の二障がいと同じ制度が利用できるようになったが、個別施策の面では障がい者間格差が生じている。神奈川県福祉政策においても精神障がい者は同等の恩恵に浴していないのが実情であり、とりわけ精神障がい者が医療を受けた場合の医療費助成の充実が求められている。

具体的には、神奈川県重度障がい者医療費助成制度では、重度の身体障がい者と知的障がい者は、全ての診療科目において健康保険対象の医療費が全額免除とされている。(身体障がい者手帳1級、2級、及び知的障がい者療育手帳A1級、A2級)

一方、精神障がい者は、精神科に通院した場合のみ自己負担が1割に軽減されるが、精神科病院に入院した場合や精神科以外の診療科で治療を受けた場合は、一般健常者と同じ3割負担となっている。

ついでに、県におかれては、障がい格差、地域格差を解消、是正していただき、特に在宅で障がい者を抱えて生活が困窮している家族の負担軽減を図るよう求めるものである。

- 1 重度障がい者医療費助成制度を拡充し、精神障がい者保健福祉手帳1級及び2級保持者を医療費助成の対象に加えること。

市議会を傍聴しませんか

市役所庁舎の建て替えに伴い、市議会本会議および常任委員会は勤労会館で開催します。



3月定例会の予定

Table with columns: 日程, 会議名等. Lists the schedule for the March regular council meeting.

※開会は午前10時を予定しています。